

手の不自由な人が使うのに困難極めるのが、筆記具。
特に握力の弱い人は、固定することさえ難しい。
彼らは代理人によって書いてもらうことが多いが、
本人の意思をそのまま反映しているとは言えない。
これには、代理投票など、不平等な問題がある。
そのため、彼らの意思を尊重することを目的に
新たなユニバーサルデザインが必要になる。

令和5年度

デザインパテントコンテスト

解決手段

握らなくても
固定させたい

触り心地を
良くしたい

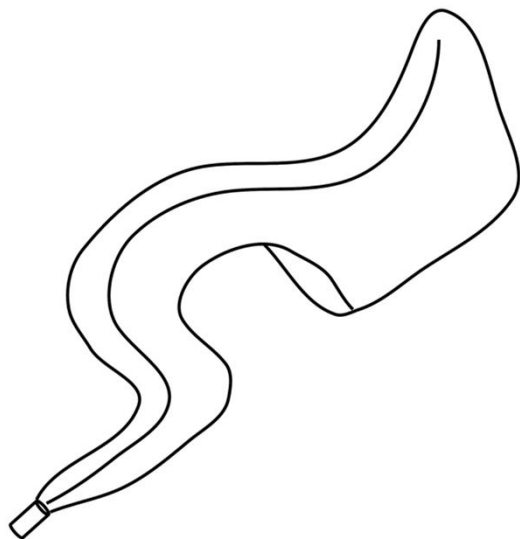
コンパクトが良い

指を入れる
隙間を作る

角を減らし
肉厚部を増やす

スマホの様に
薄くする

ソフトタッチ



- ・ 芯に重心が来て、安定している。
- ・ 隙間が2～3個あり、指を入れ、固定しやすい。
- ・ 全体的に丸みを帯び、左図右上部分は肉厚部で、触り心地が良い。
- ・ 厚さ約1 cmで、コンパクト。

ソフトタッチ

持ちやすい持ち方2選



ほぼ手がパーの状態
で、握力無しで持てる。



筆記具を床に当て、
安定している。

ソフトタッチ